

知って安心



# あなたのくすりと健康



聞いて安心

第70号

- 機能性ディスぺシアとは…昭和大学藤が丘病院 薬剤部 八木 仁史
- 貼り薬のおはなし…賛助会員 久保田 貴子
- 緩和ケアでお悩みの方…社会医療法人財団互恵会 大船中央病院薬剤部 石井 弘幸



「妊娠と薬外来」での患者様への服薬指導

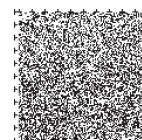
＜表紙写真＞ 横浜市立大学附属病院 薬剤部 D I室（妊娠と薬外来担当）  
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 川邊 桂

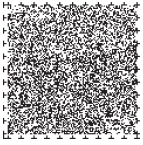
当院の「妊娠と薬外来」では専門の医師、薬剤師が同席し、妊婦さんや妊娠を希望する女性に薬の赤ちゃん（胎児）への影響について相談に応じています。胎児への薬の影響は、使用時期や薬の種類により異なります。また、妊娠中でも妊婦さんの健康のために薬が必要な場合があります。外来では薬剤師が胎児への薬の影響を事前に調べ、具体的なデータ等を示しながら説明しています。

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

2013年9月発行

音声コード





## 機能性ディスペプシアとは

聞き慣れないかもしれませんが、「機能性ディスペプシア」という言葉をご存知でしょうか？ 胃の痛みや胃もたれなどの様々な症状が慢性的に続いているにもかかわらず、内視鏡検査などを行っても、胃潰瘍・十二指腸潰瘍や胃がんなどの異常が見つからない疾患のことを言います。つらい症状が長く続くことで、患者さんの生活の質を大きく低下させてしまいます。

主な症状は「食後の胃もたれ感」「食事開始後少ししか食べていないのに、おなかが苦しくてそれ以上食べられなくなる感じ（早期飽満感）」「みぞおちの痛み（心窩部痛；しんかぶつう）」「みぞおちのあたりが焼ける感じ（心窩部灼熱感；しんかぶしゃくねつかん）」の4つです。



機能性ディスペプシアは大きく分けて、食後のもたれ感や早期飽満感が週に数回以上起こるタイプと心窩部痛や心窩部灼熱感が起こりやすいタイプの二つがあります。

胃はもともと食べ物を消化するために入ってきた食べ物をためておく働きと、消化した食べ物を十二指腸に送り出す働きがありますが、この両方の働きが弱くなるのが原因の一つと考えられています。ほかにも胃の知覚過敏（刺激に対して痛みを感じやすくなる状態）やストレスなどの心理的・社会的要因も関係があるといわれています。

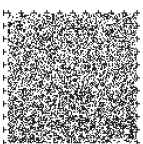
問診や内視鏡検査等により機能性ディスペプシアと診断された場合には、生活習慣の改善を基本として、様々な薬物治療が開始されます。できるだけ決まった時間に食事をとる、よく噛んでゆっくり食べる、食べ過ぎに注意する（腹八分目）、甘いもの・トウガラシなど刺激の強いもの・脂っこいものの食べ過ぎには注意するなどの食生活の改善のほか、ストレスをためないようにする、アルコールは控える、禁煙するなどの生活習慣の改善が必要になります。

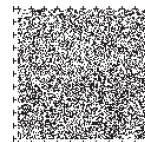


おくすりとしては、胃や腸のはたらきを活発にする消化管運動機能改善薬、胃酸の分泌を抑える酸分泌抑制薬などが用いられます。2013年6月には機能性ディスペプシアを改善する新しいおくすりである、アコチアミド塩酸塩も発売されており、特に食後膨満感や早期膨満感に効果が認められています。

長く続く胃もたれなど気になる症状がありましたら、近くの医師、薬剤師にご相談ください。

昭和大学藤が丘病院 薬剤部 八木 仁史





## 貼り薬のおはなし

「外用薬」のひとつに貼り薬があります。今回は、局所作用型のパップ剤と経皮吸収型テープ剤と呼ばれる薬のおはなしです。

捻挫したときなどによく使われるのがパップ剤です。冷やす目的の冷湿布と、慢性化したもの、腫れがおさまった後などに温める目的で使用する温湿布があります。冷湿布には清涼感のあるメントールなどが、温湿布にはトウガラシエキスなどが含まれています。このため、入浴の30分から1時間前に剥がしておくと、入浴時の刺激感が減ります。このほか、関節痛などに使用する消炎鎮痛剤が入ったものや、局所麻酔剤が入ったものがあります。これらは患部に使用する「局所作用型貼付剤」で、貼った部位に効果があります。



パップ剤の一例

一方、「経皮吸収型テープ剤」というものがあります。もちろんテープ剤にも局所に作用する痛み止めなどもありますが、成分が皮膚から吸収されることにより、全身作用を目的としているのが特徴です。例えば、狭心症や喘息、がんなどの痛み、認知症の薬や禁煙補助薬などがあります。

この全身タイプの薬は、狭心症だからといって心臓近くの左胸にばかり貼るのではなく、右胸や背中など貼る場所を毎回変えることにより、かぶれにくくなります。ただし、お薬によっては貼る場所により効果が変わってしまうことがありますので、お薬説明書をご確認いただくか、医師・薬剤師にご確認ください。



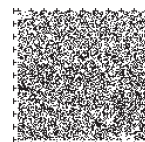
テープ剤の一例

このタイプの貼り薬は、1日1回や2～3日に1回と長く使うものが多いのですが、貼りかえは入浴少し前に剥がし、入浴後汗が引いたところに新しいのを貼るのがおすすめです。2～3日ごとに貼りかえる場合は、貼ったまま入浴します。お風呂では、貼っていたところを強くこすらないようにしましょう。

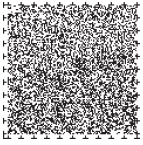
貼り薬は、貼ってあるのを目で見ることで薬の使用状況を確認でき、薬が飲めない方でも使用可能であるなどの利点があります。しかし、かぶれや痒みをはじめとした副作用や他の医薬品との飲み合わせ、使用方法や保管方法など、いろいろ知っておくと良いことがありますので、詳しくはお気軽に薬剤師にご相談ください。

貼り薬は、貼ってあるのを目で見ることで薬の使用状況を確認でき、薬が飲めない方でも使用可能であるなどの利点があります。しかし、かぶれや痒みをはじめとした副作用や他の医薬品との飲み合わせ、使用方法や保管方法など、いろいろ知っておくと良いことがありますので、詳しくはお気軽に薬剤師にご相談ください。

賛助会員 久保田 貴子







## 緩和ケアでお悩みの方

みなさんは“緩和ケア”と聞いてどんなイメージを思い描きますか？

終末期医療、がんによる疼痛を取り除く、精神的な苦痛を和らげるなど、近年、がん患者さんに対するケア、いわゆる緩和ケアが日々進歩していることをご存じでしょうか？

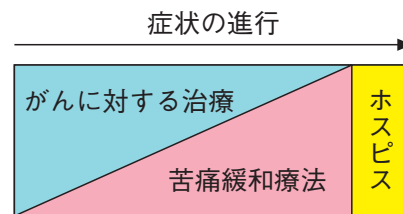
まずは、WHO（世界保健機関）が示す緩和ケアの定義を紹介致します。

### WHO による緩和ケアの定義（2002年）

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアル（自己の存在意義や死生感などについて）な問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティー・オブ・ライフ（QOL：生活の質）を改善するアプローチである

現在の緩和ケアの考え方では、患者さんご本人はもちろん、その家族も含めたQOLの向上を目指しています。以下にがん治療と緩和治療の関係をお示します。

従来は、がん治療が終了するまで緩和治療を制限する場合も多かったのですが、現在では治療と並行して、早期より緩和ケアを行っていくことがほとんどです。また医療用麻薬も、飲み薬・貼り薬・坐薬など投与方法も多岐に渡り、その選択肢も増えてきました。さらに、タイプの異なる痛み止めやしびれ・食欲不振などを改善するお薬を一緒に飲む事によって、患者さんのQOLが向上することもあります。



緩和ケアでお悩みの方は、ぜひ病院薬剤師までご相談ください。

社会医療法人財団互惠会 大船中央病院薬剤部 石井 弘幸

### 2013 くすりと健康すこやかフェア 開催のお知らせ



日 時：10月24日（木）10時～16時 場 所：横浜駅東口そごう前広場

お薬相談や健康度チェック（血管年齢測定・肌年齢測定・骨密度測定）などを行います。その他、くすりに関する様々な情報を提供します。参加費は無料です。是非ご参加ください。

\*前号（平成25年6月発行）表紙の薬剤師は「中村 聡」の誤りでした。お詫び申し上げます。

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡お願いいたします。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

TEL：045-761-3345 FAX：045-761-3347

インターネットアドレス <http://www.kshp.jp/>

